

2025年度 授業シラバス

科目名	英会話	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

よく使われる日常的表现と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。

自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

【到達目標】

オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。

【教員の略歴】

英会話講師(留学事前研修指導、コミュニケーション、英検、Toeic、Toefl等)小学校から大学まで幅広い教育現場で講師を務める。

Toeic 950、英検1級、公認心理師取得。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	be動詞(am, are)を使って自己紹介(国籍や出身)する、または出身地を尋ねる会話を練習する 疑問代名詞[What]を使って、自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く	①	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える
②	ホテルにチェックインする際の会話を練習する 個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く	②	電話で情報を共有する会話を練習する 今起こっていることについてのブログを読む、書く
③	Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」 前期発表と連動する内容 be動詞を使って、家族構成について話す	③	Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 後期発表と連動する内容 [Can / Can't] (能力)を使って、自分の能力や才能について話す
④	be動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する 年齢や誕生日について聞く、話す	④	[Can / Can't] (可能性)を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す 自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する
⑤	写真に写っている友達のことについて話す 友達についての紹介文を書く Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」 前期発表と連動する内容	⑤	インターネット上で自分の考えをコメントする Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」 後期発表と連動する内容
⑥	名詞の所有を表す[s]と[s']を使って、自分の家について話す [it is]を使って、家具について話す	⑥	[this]と[these]を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to]を使って、旅行計画を立てる
⑦	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する。 分からない単語について質問する ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く	⑦	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する 場所についての説明を読む、書く
⑧	Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」 前期発表と連動する内容 一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す	⑧	Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 後期発表と連動する内容 [be going to]を使って、週末のアウトドア(野外)プランについて話す
⑨	コミュニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す コミュニケーション手段について話す 相手の話を聞いていることを示す	⑨	[be going to] (疑問文)を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う [be going to] (疑問文)を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う
⑩	商品のレビューを読む、書く Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」 前期発表と連動する内容	⑩	オンラインでの招待状を読む、書く Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」 後期発表と連動する内容
⑪	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す 「現在形」疑問文を使って、時間、自分のルーティン(日課)について話す	⑪	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す
⑫	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する 自分の行動についてのレポートを読む、書く	⑫	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く
⑬	Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」 前期発表と連動する内容 [There (is, are), (a lot, some, no)]を使って、町にある場所について話す	⑬	Time to Speak:スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「子どもの頃から見ているTV番組について」 後期発表と連動する内容 一般動詞の「過去形」を使って、間食や軽食について話す
⑭	「可算名詞・不可算名詞」を使って、住んでいる地域の自然について話す 道順を聞く、または教える会話を練習する	⑭	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、レストランの食事について話す 食べ物・飲み物を提供する、お願する、また答える時の会話を練習する
⑮	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く Time to Speak:前期発表	⑮	レストランのレビューを読む、書く Time to Speak:後期発表
準備学習 時間外学習	オンデマンドの配信授業もあります。	評価方法	授業態度、出席率、レポート、筆記テスト等
受講生への メッセージ	英語が苦手な人も、好きな人も一緒に楽しみましょう。 Let's enjoy speaking in English.	使用教科書 教材 参考書	EVOLVE

2025年度 授業シラバス

科目名	コンピューター	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。

【到達目標】

実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。

【教員の略歴】

Word,Excel基本的な操作や機能の習得だけでなく、自身のグラフィックデザイナーとしての経験を活かし、Wordで作成する文書であっても、Excelで作成するワークシートであっても、仕上がりの見やすさや見栄えの良さにも気を配ることを含めて、指導するように心掛けている。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	授業ガイダンス・環境確認	①	Excel第1章 Excelの基本操作
②	Word第1章 Wordの基本操作、	②	Excel2章 数式の作成
③	Word第2章 文章の編集	③	Excel第3章 表の編集
④	Word第3章 表現力のある文書作成	④	Excel第4章 グラフの作成
⑤	Word第4章 図形の応用	⑤	Excel第5・6章 印刷・ワークシートの操作
⑥	Word第5章 表の作成	⑥	Excel第7章 いろいろな関数
⑦	Word第6章 Wordの便利な機能	⑦	Excel第8・9章 Excelの便利な機能
⑧	Word第7章 SmartArtグラフィック	⑧	Excel第10章 Excelの活用・復習課題
⑨	Word総復習課題	⑨	後期試験準備のための模擬試験
⑩	前期試験準備のための模擬試験	⑩	後期試験準備のための模擬試験
⑪	前期試験(Word)	前期試験	⑪ 後期試験
⑫	試験振り返り		⑫ 試験振り返り
⑬	Word第8章 表の応用	⑬	Excel第11章 Excelの活用・復習課題
⑭	Word第9章 文書をサポートする機能	⑭	Word・Excel総復習課題
⑮	Word第10章 文書をサポートする機能 応用	⑮	Word・Excel総復習・まとめ
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2016・Excel2016 USBメモリ必携

2025年度 授業シラバス

科目名	ビジネスマナー	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。 ・社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。 							
【到達目標】							
企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。							
【教員の略歴】							
企業内研修(入社基本研修～マナー、サービスマインド、ホスピタリティ、営業研修等)その後キャリアコンサルタントとして企業内キャリアカウンセリング約100社程担当。キャリアコンサルタント養成講座実技指導講師							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	ガイダンス・コミュニケーションとは? 挨拶・おじぎ			①	4章 社会的スキルⅡ、Ⅲ		
②	2章 基本スタイルⅠ 1～3			②	4章 社会的スキルⅡ 3～4		
③	2章 基本スタイルⅠ 4～6			③	4章 社会的スキルⅡ 6～7		
④	2章 基本スタイルⅡ			④	4章 社会的スキルⅢ1～2		
⑤	3章 自己表現スキルⅠ 1～3			⑤	4章 社会的スキルⅢ 3～5		
⑥	3章 自己表現スキルⅠ 4～6			⑥	サービスマインドⅠ 1		
⑦	3章 自己表現スキルⅡ 1～3			⑦	サービスマインドⅠ 2～3		
⑧	3章 自己表現スキルⅡ 4～6			⑧	サービスマインドⅡ 1		
⑨	3章 自己表現スキルⅢ 1～2			⑨	サービスマインドⅡ2～3		
⑩	3章 自己表現スキルⅢ 3～4			⑩	プレゼンテーション 自己アピール		
⑪	復習 模擬テスト		前期試験	⑪	検定 過去問題対策		後期試験
⑫	プレゼンテーション 自己アピール			⑫	直前 検定問題対策		
⑬	4章 社会的スキルⅠ、Ⅱ			⑬	直前 検定問題対策		
⑭	4章 社会的スキルⅠ、Ⅱ			⑭	コミュニケーションスキルアップ検定		
⑮	前期・総復習			⑮	まとめ		
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、欠席した際には、その内容をしっかりと予習してから、次回出席のこと。			評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ筆記試験点数を加算する。		
受講生へのメッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張りましょう。			使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定		

2025年度 授業シラバス

科目名	放送業界基礎知識	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 この業界での基礎知識を学び、実際に役者が演技をしている生の舞台上で音響・照明の操作を実践する							
【到達目標】 演者さんを身近に感じてスタッフの芝居へのアプローチや芝居感を身に付け、合わせて業界で働く上での基礎知識の習得を目的とする。							
【教員の略歴】 芸能プロダクションに所属、俳優、お笑い、ラジオDJなどマルチに活動							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	オリエンテーション	①	カメラアングルについて基礎①	
②	進路ミュージカルとは	②	カメラアングルについて基礎②	
③	ミュージカル鑑賞	③	照明操作基礎①	
④	テレビ収録について検討する①	④	照明操作基礎②	
⑤	テレビ収録について検討する②	⑤	制作基礎①	
⑥	舞台について検討する①	⑥	制作基礎②	
⑦	舞台について検討する②	⑦	音響基礎①	
⑧	グループ分け	⑧	音響基礎②	
⑨	企画を考えてみる①	⑨	音声基礎①	
⑩	企画を考えてみる②	⑩	音声基礎②	
⑪	企画の選定	⑪	進路ミュージカル リハーサル①	
⑫	企画ブラッシュアップ①	⑫	進路ミュージカル 本番日/収録	
⑬	企画ブラッシュアップ②	⑬	進路ミュージカル 編集	
⑭	前期復習	⑭	作品提出/合評	後期試験
⑮	後期に向けての予習	前期試験	⑮	反省会
準備学習 時間外学習	TVや舞台などを積極的に観て学んでください。	評価方法	試験・出席率・授業態度・課題	
受講生への メッセージ	最終的にはミュージカル制作し、ものづくりの楽しさを感じながら業界に必要な知識を身につけましょう。	使用教科書 教材 参考書	特になし	

2025年度 授業シラバス

科目名	演技・演出	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 基礎表現から舞台での表現まで、毎回実践あるのみ！							
【到達目標】 舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる							
【教員の略歴】 1993年～舞台を中心に活動を始め、現在も俳優・脚本・演出などをこなす。2002年より指導者としても活動、今では講演会を含め日本全国を回る。他に、大物俳優の付き人、NSC17期生などの経歴。株式会社band's company代表取締役社長・劇団ザ・ドクターイエロー代表							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	発想力を養う連想ゲーム	①	ドラマのワンシーンに挑戦(本読み・立ち稽古)	
②	基礎表現 1「あ」からはじまる基礎表現	②	ドラマのワンシーンに挑戦(台本を持たないで)	
③	基礎表現 2「あ」から言葉にかえて基礎表現	③	ドラマのワンシーンに挑戦(撮影)	
④	「届かなかったラブレター」を読んでみる	④	グループでドラマのワンシーンに挑戦(本読み・立ち稽古)	
⑤	「届かなかったラブレター」を表現してみる	⑤	グループでドラマのワンシーンに挑戦(台本を持たないで)	
⑥	学園祭で発表!!「届かなかったラブレター」	⑥	グループでドラマのワンシーンに挑戦(動きを入れて)	
⑦	シチュエーション表現 1 キャラクターの表現	⑦	グループでドラマのワンシーンに挑戦(撮影)	
⑧	シチュエーション表現 2 場所の表現	⑧	グループでドラマのワンシーンに挑戦(動画のチェック)	
⑨	シチュエーション表現 3 グループに分かれて表現	⑨	チームで演劇制作・チーム分けとテーマの決定	
⑩	簡単なワンシーンを表現してみる 1 台本を持ちながら	前期試験	⑩ チームで演劇制作・台本制作1	
⑪	簡単なワンシーンを表現してみる 2 台本を持たないで		⑪ チームで演劇制作・台本制作2	後期試験
⑫	BGMをつけて本格的にワンシーンを演じてみる		⑫ チームで演劇制作・台本制作3	
⑬	ワンシーンの長ゼリフをひとりでやってみよう		⑬ チームで演劇制作・稽古	
⑭	本格的なワンシーンを表現してみる(台本を持ちながら)		⑭ チームで演劇制作・稽古	
⑮	本格的なワンシーンを表現してみる(台本を持たないで)		⑮ チームで演劇制作・本番!!	
準備学習 時間外学習	当たり前前に台本を丸ごと覚える	評価方法	試験 出席率・授業態度を評価(技術はその次。実際の業界も同じなので)	
受講生への メッセージ	俳優にとって一番大切な礼儀・マナーをしっかりと心掛けてほしいです	使用教科書 教材 参考書	特になし	

2025年度 授業シラバス

科目名	演劇・映像史	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間 I 部・II 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

レコーディング業務の標準的ソフト「ProTools」を使ってデジタル変換のしくみや音の性質を感じ、音声処理の流れを学び、実用的な録音・編集・ミキシングを行う

【到達目標】

セッションを作成して、録音、編集、ミキシング、バウンスが行えること。
制作工程を意識した工程管理、ディレクションなどを体験し、逆算感覚を養う。

【教員の略歴】

レコーディング、PA、など様々な場面にてデッキ(録音再生機器)の活用した業務に関わってきました。「音出し」など「きっかけ」作業の楽しみや収録などの製造作業のような楽しさを感じてもらえるように案内していきたいと思ひます。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ルーティング、I/O	①	リズム カウント
②	スリップモード、クリップトリム、音あたま	②	Vo.Dub
③	シャッフルモード、クロスフェード	③	指向性 ステレオマイキング
④	スポットモード、タイムスタンプ、タイムルーラ	④	エフェクト:EQ、Filter
⑤	ティックモード、エラスティック	⑤	エフェクト:Gate、Expander
⑥	ファイル構造、修復	⑥	エフェクト:Comp、Limit
⑦	ベース ギター di amp on off near 厚み	⑦	エフェクト:Delay、Rev、Cho
⑧	ドラムセット 位相	⑧	バランス、レベルマッチ
⑨	前期課題制作 1	⑨	後期課題制作 1
⑩	前期課題制作 2	⑩	後期課題制作 2
⑪	前期課題制作 3	⑪	後期課題制作 3
⑫	前期課題制作 4	⑫	後期課題制作 4
⑬	前期課題制作 5	⑬	後期課題制作 5
⑭	発表 採点	⑭	発表 採点
⑮	たたき、ボタンを押す	⑮	時間芸術
準備学習 時間外学習	知らない音楽や映画や舞台を一つでも多く体験してください。 また、ショートカットを覚えてください。	評価方法	出席率、制作課題、取り組み姿勢を考慮して総合評価します
受講生への メッセージ	ProToolsを知ると、まるで「音の積み木ブロック」の世界のように感じてもらえるでしょう。実習を通じて感覚と発想に変化が起き、みなさんの新たな道を切り開く原動力になります。学びと一緒に取り組み、サポートします。わからないことなど気軽に声を掛けてください。	使用教科書 教材 参考書	PT実習ではヘッドフォン・イヤホンがあると快適に作業できます。 データ保管用にUSBメモリが必要となりますので各自持参してください。

2025年度 授業シラバス

科目名	番組・イベント企画	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実際の番組制作を行う中で各セクションからの依頼を基に、準じたセット・内容を構築しながら実践的な技術を習得していく。自らで考え、スケジューリングし、チームワークを身につける。							
【到達目標】 テレビ番組やイベント制作を通じて、美術セットなどを理解し、コミュニケーションを取りながら製作する							
【教員の略歴】 舞台美術のファクトリーを設立、演劇やダンスイベント、ミュージカルなどの舞台美術を担当、関西を中心に様々な団体からの依頼をこなす。テレビ局や劇場、各種イベントなど、幅広く活動している。							

前期		後期			
授業計画・内容		授業計画・内容			
①	今年度の目標、抱負。	①	架空の番組のセットの内容・製作プランを構築する⑤		
②	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作①	②	架空の番組のセットの内容・製作プランを構築する⑥		
③	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作②	③	架空の番組のセットの内容・製作プランを構築する⑦		
④	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作③	④	進級制作のセットプランを構築①		
⑤	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作④	⑤	進級制作のセットプランを構築②		
⑥	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作⑤	⑥	進級制作のセットプランを構築③		
⑦	反省会。今後に必要なものの製作などをミーティング	⑦	進級制作番組・イベントセット製作①		
⑧	美術製作の基本的な作業の技術的復習①	⑧	進級制作番組・イベントセット製作②		
⑨	美術製作の基本的な作業の技術的復習②	⑨	進級制作番組・イベントセット製作③		
⑩	美術製作の基本的な作業の技術的復習③	前期試験	⑩	進級制作番組・イベントセット製作④	
⑪	美術製作の基本的な作業の技術的復習④		⑪	進級制作番組・イベントセット製作⑤	後期試験
⑫	架空の番組のセットの製作プランを構築する①		⑫	進級制作番組・イベントセット製作⑥	
⑬	架空の番組のセットの製作プランを構築する②		⑬	進級制作番組・イベントセット製作⑦	
⑭	架空の番組のセットの製作プランを構築する③		⑭	進級制作 本番日	
⑮	架空の番組のセットの製作プランを構築する④		⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	イベント当日までのスケジュールを自分たちで管理共有し、時間を潤滑に使う道程を確立し、円滑な作業が行えるように組み立てる。	評価方法	試験 授業(作業)への取り組み方。 実行力、挑戦する意欲を見る		
受講生への メッセージ	技術力は経験値で上がっていくものだから、出来ないことはマイナスではなく、やってみようと思う気持ちが大事です。	使用教科書 教材 参考書	セット制作に準ずる木材や資料。模型製作に必要なスチロール素材など		

2025年度 授業シラバス

科目名	コンピュータデザイン	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間I部・II部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 MACを使用した、実践型学習。							
【到達目標】 ソフトを使用して基礎的な使い方を学ぶ。							
【教員の略歴】 TVCM・PromotionVideo・TV番組など映像コンテンツプロデューサー、ディレクター。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	映像DATA理解 1	①	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ①）
②	映像DATA理解 2（カメラ使用）	②	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ①）
③	制作現場で使うAdobe Workshop Photoshop 1	③	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ①）
④	Workshop Photoshop 2	④	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ①）
⑤	Workshop Photoshop 3	⑤	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ②）
⑥	Workshop Illustrator	⑥	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ②）
⑦	Workshop Premiere 1	⑦	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ②）
⑧	Workshop Premiere 2	⑧	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ②）
⑨	Workshop Premiere 3	⑨	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ③）
⑩	前期試験	⑩	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ③）
⑪	Workshop Adobe実践	⑪	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ③）
⑫	Workshop Adobe実践	⑫	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ③）
⑬	Workshop Adobe実践（作品提出/PV会）	⑬	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ④）
⑭	Workshop Adobe実践（作品提出/PV会）	⑭	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ④）
⑮	Workshop Adobe実践（作品提出/PV会）	⑮	Workshop Adobe実践（課題に基づいた作品制作 ④）
準備学習 時間外学習	特になし：課題提出に関しては、自己管理の下自己研鑽して下さい。	評価方法	筆記試験 および 作品提出
受講生への メッセージ	制作系の現場で、終業後すぐに求められるスキルです。しっかりと身に付けて下さい。	使用教科 書 教材 参考書	特になし

2025年度 授業シラバス

科目名	カメラワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 プリプロダクションにおける、撮影と照明は密接な関係にあり、基礎的な機材の使用法を学び撮影行為を通して撮影・照明の機材とその手法を学ぶ							
【到達目標】 映画ドラマにおける、基礎的な撮影機材・照明機材の名称及び操作技術の取得また、撮影・照明の手法を実践を通して習得する事ができ、名称はもちろんその手法を実践できるようになる。(また業界に出た際のメインスタッフと助手の違いを認識し、その動きを学ぶ)							
【教員の略歴】 映画・CM・VPなど様々な分野で撮影部にて活躍。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	オリエンテーション 当科目での到達目標と実施概要 機材申請シートの確定と機材概要説明	①	【各班準備】 機材確認/特殊撮影機材及び照明機材確認	
②	撮影部/照明部ⅠA 各種機材及び周辺機器名称と取扱説明 目標/機材名称がわかるようになる	②	A班/撮影・照明演習 準備及び出演	
③	撮影部/照明部ⅠB 各種機材及び周辺機器名称を取扱説明 目標/機材名称がわかるようになる	③	B班/撮影・照明演習 準備及び出演	
④	撮影部/照明部ⅡA 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材名称がわかり、選別できるようになる。	④	C班/撮影・照明演習 準備及び出演	
⑤	撮影部/照明部ⅡB 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材名称がわかり、選別できるようになる。	⑤	D班/撮影・照明演習 準備及び出演	
⑥	撮影部/照明部ⅢA 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材を自身で組立てれるようになる	⑥	E班/撮影・照明演習 準備及び出演	
⑦	撮影部/照明部ⅢB 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材を自身で組立てれるようになる	⑦	全チームオフラインラッシュ 反省会と改善点	
⑧	撮影部/レンズの違いによる画角の違いとレンズの扱いについて 照明部/三点照明技法を徹底マスター	⑧	特機技術Ⅰ ミニジブクレーン/レールドリーの使用方法について	
⑨	撮影部/レンズの違いによる画角の違いとレンズの扱いについて 照明部/三点照明技法を徹底マスター	⑨	特機技術Ⅱ ミニジブクレーン/レールドリーの使用方法について	
⑩	撮影/照明演習① 蛍光灯下での撮影/照明表現技法	⑩	特機技術Ⅲ ミニジブクレーン/レールドリーの使用方法について	
⑪	撮影/照明演習② 教室内での夕景表現・撮影/照明表現技法	前期試験	⑪	進級制作作品 スケジュール&シーン確認 準備物及び撮影/照明技法アドバイス
⑫	【試験演習】 班に分かれてのワンシーン撮影実習 3班集体にて実施	⑫	⑫	進級制作作品 スケジュール&シーン確認 準備物及び撮影/照明技法アドバイス
⑬	長期休暇明け・総復習 撮影/照明機材名称及び扱い方 後期オリエンテーション及び課題提出	⑬	⑬	進級制作作品/ラッシュレビュー 改善点及び、アドバイスの実施
⑭	長期休暇明け・総復習 撮影/照明機材名称及び扱い方 後期オリエンテーション及び課題提出	⑭	⑭	【試験演習】 班に分かれてのワンシーン撮影実習 3班集体にて実施
⑮	長期休暇明け・総復習 撮影/照明機材名称及び扱い方 後期オリエンテーション及び課題提出	⑮	⑮	年間総まとめ
準備学習 時間外学習	前期については、撮影部/照明部に分かれて機材名称及び扱いを学ぶ事とする。 機材貸出については、持ち回り制をとりいれ、授業開始までに準備を実施	評価方法	【評価方法】実技試験及び、授業拝聴姿勢を評価とする。 【評価基準】撮影・照明における基礎技術習得が出来ているかを評価基準とする。	
受講生への メッセージ	映画・ドラマは総合芸術です。 他人事にならず、志望に関係なく技術を身につけましょう!!	使用教科書 教材 参考書	機材室及び、テレビスタジオ内の撮影機材・照明機材を使用	